

東日本大震災への会員生協の取り組み (5月末)

広島県生活協同組合連合会

全ての会員生協で募金活動を行っているほか、各生協で様々な支援の取り組みが継続実施されています。

□ 5月31日現在の募金額

生協名	金額(円)	備考
広島県学校生協	869,953	
広島県高等学校生協	253,662	※COOP 商品普及月間・震災復興支援価格募金
日立造船因島生協	1,340,823	
竹原生協	1,054,996	
生協ひろしま	76,849,784	
グリーンコプひろしま	13,590,736	
広島大学消費生協	359,446	
広島修道大学生協	63,916	
広島中央保健生協	3,723,692	別途、支援活動費として組織より100万円
広島医療生協	2,291,932	別途、支援活動費として組織より100万円
福山医療生協	1,718,434	
広島県労働者共済生協	1,546,000	別途、全労済(全国)として1億1千万円
CS ネット	140,000	職員カンパ
県連	138,460	※うち、10万円は生協ひろしま碑めぐりガイドの会より
計	103,941,834	

□ 会員生協の活動

(5月31日現在)

生協名	取り組み
広島中央保健生協	<p>□ 医療支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第1陣 3月19日～21日 ● 第2陣 3月30日～4月4日 生協さえき病院長、看護師長、検査技師の3名 ● 第3陣 4月3日～10日 医師(4日～)、看護師、保育士の3名 ● 第4陣 4月10日～16日 看護師1名 ● 第5陣 4月17日～24日 医師2名、放射線技師 ● 第6陣 4月27日～5月1日 医師1名 ● 第7陣 5月12日～15日 理学療法士1名 <p>□ 支援物資について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第1陣 3月19日～21日 2名 ● 第2陣 3月25日～27日 2名 <p>支援物資は日本医療福祉生協連の物資支援センター(新潟)を通じて、郡山医療生協、福島医療生協、福島中央市民生協に届ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 3月31日(木)に当生協に寄せられた支援物資を福島県の郡山医療生協と浜通り医療生協に宅急便で送付。 <p>□ カンパについて</p> <p>病院等窓口に、募金箱を設置。組織としてのカンパ100万円を本部費から捻出決定。理事会は理事報酬をカンパに当てる。職員は1日分の給与を目安にカンパ。</p> <p>□ 原発事故・福島県現地調査 藤原副理事長が福島県現地調査に参加。</p> <p>□ 原発事故現地調査及び医療支援等の報告会開催(福島生協病院、生協さえき病院)</p> <p>□ 全日本民医連緊急被曝事故対策会議(5月1日)に副理事長出席。</p> <p>□ 生協さえき病院の利用委員会の組合員が「ひまわりの種」(放射性物質を取り込み被災地の空き地を花で埋める)を福島県の医療生協に送った。 福島生協内科クリニックを利用する患者、組合員が寄せ書きを贈った。</p>

<p>広島医療 生協</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 医療支援について <ul style="list-style-type: none"> ● 第1陣 3月17日～ 医師、看護師2名の計3名 ● 第2陣 4月3日～9日 医師、事務長、(看護師)派遣 ● 第3陣 4月18日～23日 医師 看護師 事務 □ 事務支援について <ul style="list-style-type: none"> ● 5/8～14 1名 ● 5/19～22 1名 ● 5/26～29 1名 □ 支援物資について <ul style="list-style-type: none"> ① 3月18日 輸送部隊3名 ② 4月22日 トラック2台相当 □ 病院等窓口に、募金箱を設置。職員は1日分の給与を目安にカンパ。
<p>福山医療 生協</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 医療支援(宮城坂総合病院)3月24日～29日 看護師1名を派遣 □ 募金について <ul style="list-style-type: none"> ● 3月14日に引き続き22日に2回目の街頭募金を福山駅前にて実施。 ● 4月14日のWHO世界保健デー行事とあわせ、福山駅前街頭募金を実施(20名参加) ● 病院等窓口に、募金箱を設置。全ての会議の場でカンパ要請。職員には、手取りの一日分を目安にカンパ協力を訴え。 ● 全支部の支部総会にてカンパを訴え。 ● 組織として、50万円の義援金支出を決定。 <p>※医療支援は、血圧計聴診器等を持参。</p>
<p>生協 ひろしま</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 人的支援(同時に支援物資も運ぶ) <ul style="list-style-type: none"> ● 第1陣 みやぎ生協へ3月17日～22日 職員10人、トラック5台 ● 第2陣 コープふくしまへ3月23日～28日帰着 職員4人、トラック2台 ● 第3陣 コープふくしまへ3月26日～31日帰着 職員4人、トラック2台 ● 第4陣 コープふくしまへ3月31日～4月5日 職員4人、トラック2台 ● 第5陣 コープふくしまへ4月4日～4月9日 職員4人、 ● 第6陣 コープふくしまへ4月7日～4月15日 職員4人、 ● 第7陣 コープふくしまへ4月10日～4月15日 職員5人(一旦終了) <p>役割は、店舗組合員の安否確認、倒壊した店舗や組合員宅の瓦礫撤去や片付け、避難所への支援物資の搬送等。後半は店舗支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 共済支援隊 第1陣(4月29日～5月5日)以後、第6陣(～5月30日)まで各2名で実施。役割は、共済給付調査。 □ 募金活動 <p>3月12日より「食べる・たいせつフェスティバル」の会場、および各店舗で募金開始。3月14日より、共同購入でも募金呼びかけ実施。年内いっぱいまで機関延長。</p> □ 贈呈先 <p>生協ひろしまの支援募金の一部とコープサービス(株)及びコープハウジングひろしま(株)の義援金を日本赤十字社広島県支部に贈呈。現在、組合員さんから募金中であるが、できるだけ早く支援金を役立てていただくため。…生協ひろしま1,000万円、サービス100万円、ハウジング100万円 計1200万円</p> <p>日本生協連へ募金のうち6,000万円を送金。</p> □ 「地球のステージ」主宰者の桑山医師は、宮城県で診療所を開設され、その診療所も震災で被害を受け、その中で被災者や地域住民の診療を継続。そこで、診療所の損壊修理や医療器具・医薬品の購入等に役立てていただくために、支援募金の中から30万円と虹の会(取引先の会)から20万円の計50万円を支援金として贈呈。 □ その他、節電(被災地へ気持ちを届ける取り組み)実施、会員向けeメール配信を一定期間自粛。 □ 東日本大震災「ひろしまボラネット応援隊」(県社協)への職員の派遣 <ul style="list-style-type: none"> ● 広島県社協主催の「ひろしまボラネット応援隊」第1陣(5月16日～20日)へ、職員2名を派遣。

日立造船 因島生協	<ul style="list-style-type: none"> □ 日本生協連へ生活支援物資（カイロ等）提供（尾道物流センターへ持込み）。 □ 3月12日～、店舗をはじめ各部署で募金活動実施。 □ 家庭会運営委員が、毎月店頭での募金活動を実施。 □ イベント開催時には毎回、家庭会運営委員の協力で、募金活動を実施。
竹原生協	<ul style="list-style-type: none"> ● 宅配時の募金活動を実施。 ● 店舗での募金活動を継続実施。
グリーン ユープ ひろしま	<ul style="list-style-type: none"> ● 共同購入にて募金実施。 ● 生活支援物資の提供の呼びかけと回収（3月21日～4月1日） ● 5月9日より、第二次復興支援募金の呼びかけ開始（7月まで）
広島大学 生協	<ul style="list-style-type: none"> ● 3月13日より募金開始。新入生と保護者の「部屋探し」特設会場に、募金箱設置。 ● 3月14日より店舗に募金箱設置。 ● 全国大学生協連を通じ、東北大生協共済加入や給付受付の支援に共済担当職員1名を5日間派遣。 ● 組織部学生が、店舗の募金回収と強化の取り組みを実施。 ● 6月末より、食堂メニューの一部に義援金10円上乗せ企画を予定。
修道大学 生協	<ul style="list-style-type: none"> ● 各店舗に募金箱設置。
広島県 学校生協	<ul style="list-style-type: none"> ● 全組合員（＝学校教職員）に、全職場にカンパ要請（振込用紙）。 ● 震災復興支援企画チラシの展開
広島県 高校生協	<ul style="list-style-type: none"> ● 職員カンパ実施。 ● トレーニングウェア248着を提供。生協ひろしまの支援トラックにて運搬。 ● COOP商品普及月間に、震災復興支援価格（通常価格に上乗せ）実施。
広島県 労済生協	<ul style="list-style-type: none"> ● 組合員の被災調査と共済金支払いを全国動員で実施 <ul style="list-style-type: none"> ① 現場調査の状況 3月24日から6月22日まで13次・3,340名（内、広島から58名）の動員による現場調査を実施。福島県 非難区域に対しても調査班を派遣（10名） ② 被災受付状況 97,659件（6月15日現在） ③ 共済金支払い状況 火災共済・自然災害共済 61,780,948,088円 生命共済 63,270,000円 ● 県本部・支所に募金箱を設置しお客様へのカンパ要請 ● 全労済（全国）として被災自治体に対し組織カンパ1億1千万円
ユープ 中国四国 事業連合	<ul style="list-style-type: none"> ● 3月17日、軽油5000リットルを水戸に向け出発。 ● 3/17～3/20 日本生協連尾道DCに支援物資を納品 ● お米、スナック、水容器、カイロ、毛布等、計1万6千点強を車載した10トン車2台分を3/20（日）19時過ぎにユープふくしまに届けた。 ● 日本生協連より、みやぎ生協富谷物流センターと日本生協連桶川DCに大量の支援物資が集まったため、荷捌きをできるフォークリフトの運用資格を持った担当者の派遣依頼に対し、物流部課長が3/19～3/25の期間派遣した。 ● 1商品1円募金企画（想いを届けよう！東日本へ「ご利用1点につき1円支援」）の実施。食品第一媒体表紙、裏表紙の商品に1点1円の支援金を設定。今年度5月2回～12月4回で1,400万円の支援目標金額。また雑貨媒体（キャロット）でも企画全品に1点1円の支援金を設定。今年度6月1回～12月4回で450万円の支援目標金額。 ● 復興支援・応援商品（復興支援・応援プレスレット：右画像参照）の企画実施。5月初旬から年内常時受注。仕入れ差額を支援金として積み立てる。



□ 県連での今後の取り組み

- 「広島県被災者生活サポートボラネット推進会議」※1 に委員として参画し、「東日本大震災『ひろしまボラネット応援隊』」※2 等、行政・他団体と連携しながら、会員生協と一丸となって、募金活動とあわせ継続した支援の取り組みを実施します。

※1…事務局は広島県社会福祉協議会内 広島県ボランティアセンター、県行政も委員に就任。

※2…県市町の社協職員とサポートボラネット推進会議構成員が被災地に入り、被災者宅や避難所での支援活動ボランティアを2年間実施予定。

<生協ひろしま>

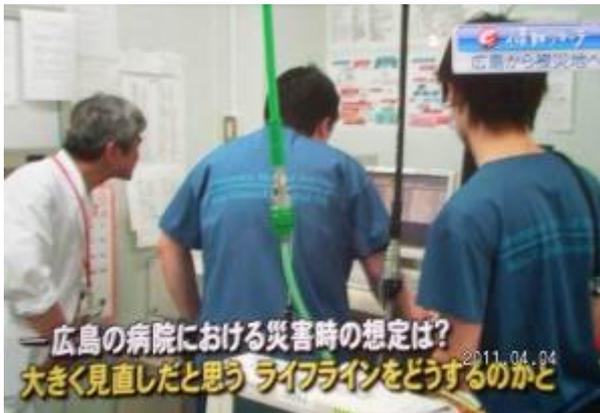


3月17日、支援隊第1陣出発式



支援物資の積み込み作業

<広島中央保健生協>



生協さえき病院福山院長の支援に、RCC放送「イブニングフォー」が密着取材。4月4日放送。



4月13日、昼休みに、生協さえき病院で緊急報告会実施。職員35名が聞き入った。

<広島医療生協>



坂総合病院に向かう第2陣医療支援チーム。



職員・組合員・患者さんから寄せられた大量の支援物資。お米も寄せられました。

<福山医療生協>



3月14日、福山駅前での街頭募金の様子。